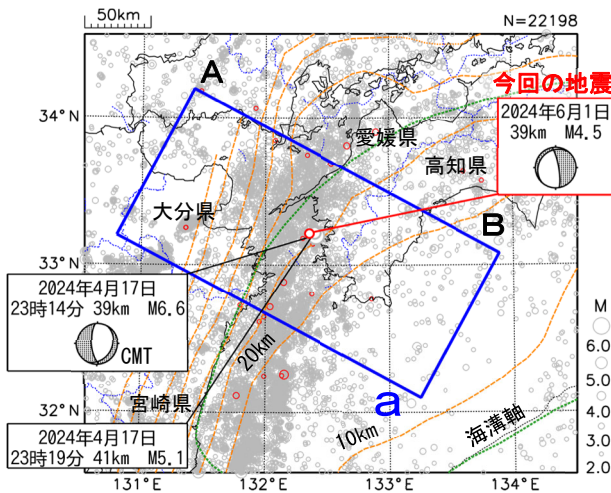


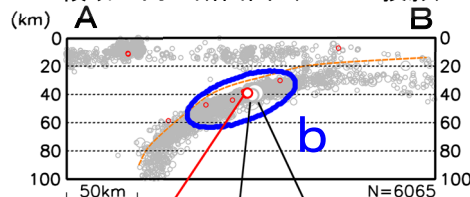
## 6月1日 豊後水道の地震（4月17日からの地震活動）

### 震央分布図

（1997年10月1日～2024年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）  
2024年6月の地震を赤色で表示



### 領域a内の断面図（A-B投影）



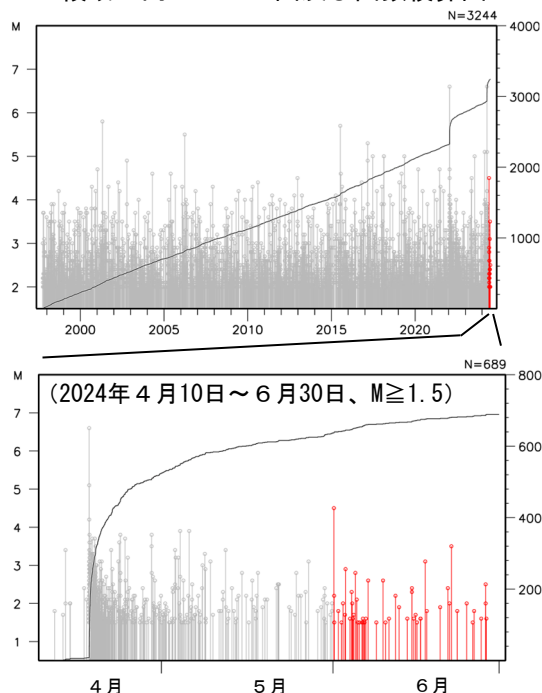
今回の地震

2024年6月1日 M4.5  
2024年4月17日 23時19分 M5.1  
2024年4月17日 23時14分 M6.6

橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

### 領域b内のM-T図及び回数積算図



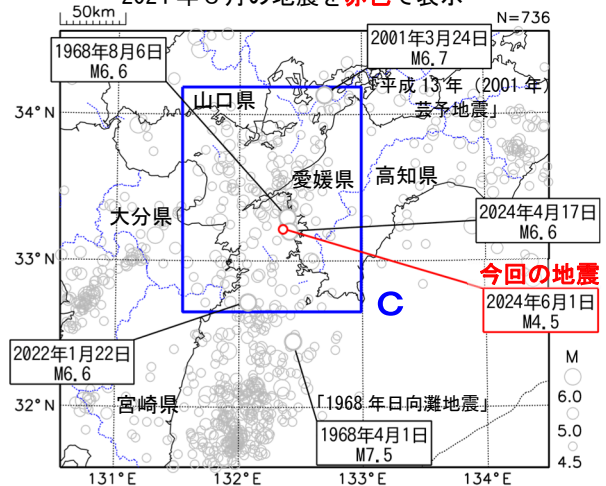
2024年6月1日04時02分に豊後水道の深さ39kmでM4.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型である。今回の地震の震源付近では、2024年4月17日のM6.6の地震（最大震度6弱）の発生後、地震活動が活発となり、4月17日23時から6月30日24時までに震度1以上を観測した地震は82回（震度6弱：1回、震度4：2回、震度3：4回、震度2：16回、震度1：59回）発生した。地震活動は次第に低下してきているものの、継続している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1968年8月6日に発生したM6.6の地震（最大震度5）では、愛媛県を中心に負傷者22人、宇和島では重油タンクのパイプ破損により、重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。また、「平成13年（2001年）芸予地震」では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

### 震央分布図

（1919年1月1日～2024年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$ ）  
2024年6月の地震を赤色で表示



### 領域c内のM-T図

